

東北関東大震災特別委員会の設置

2011.3.18

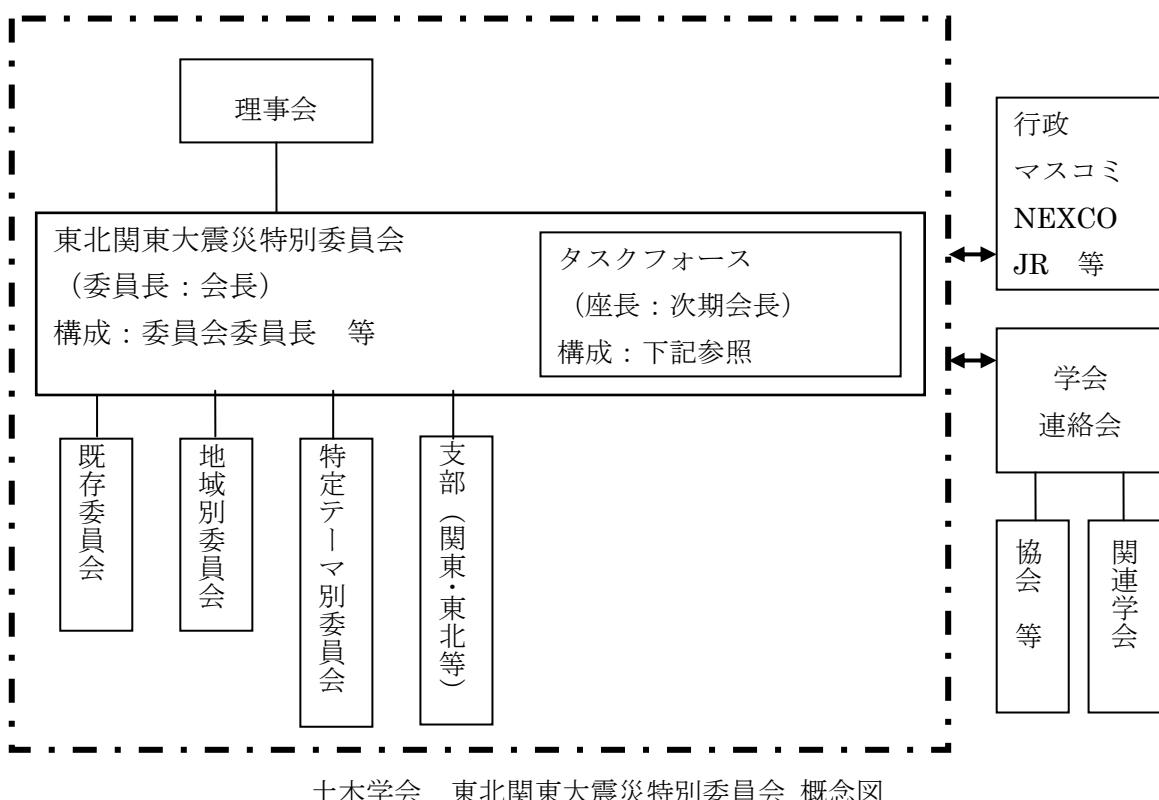
理事会承認

1. 設置趣旨

2011年3月11日午後2時46分頃発生した、マグニチュード9.0の地震とそれに伴う津波による未曾有の災害に関し、情報収集から成果の報告の段階まで、その間随時の提言を含めて土木学会としての貢献度を高めるため、土木学会関係者間の問題意識、情報の共有と英知を結集すること、並びに関係機関と緊密に連携することを目的として、会長を委員長とする「東北関東大震災特別委員会」を設置する。とりわけ、初期の機動力を發揮するために、合わせて「特別委員会タスクフォース」を組織する。

特に今回の知見は、襲来が想定されている東海・東南海・南海地震、あるいは関東直下型地震等への対処方針にとっての重要なデータとなるものと認識している。

2. 構成概念



3. 東北関東大震災特別委員会のミッション

- 1) 被災状況等に関する総合的学術調査の実施と成果のとりまとめ（従来の地震対策等（津波含む）の評価含む）
- 2) 緊急活動や地域復興に関する提言
- 3) 今後の大規模地震（津波含む）対策のあり方の検討
- 4) その他、他学会等との連絡調整

4. 委員構成

1) 東北関東大震災特別委員会

- 委員長：阪田憲次会長
- 委員： 委員会委員長 等（調整中）

2) 特別委員会タスクフォース

- 座長： 山本 卓朗（次期会長）

○ 委員（五十音順）：

　　家田 仁（国土、都市、交通）、岸井 隆幸（都市、交通）、日下部 治（地盤）、
　　桑原 雅夫（交通）、小長井 一男（耐震構造）、佐藤 慎司（海岸）、
　　多々納 裕一（災害リスクマネジメント）、中井 祐（土木史）、
　　羽藤 英二（都市生活、交通）、兵藤 哲朗（交通、物流）、
　　福士 謙介（環境工学）、布施 孝志（地理情報）、古木 守靖（土木学会）、
　　堀 宗朗（地震工学）、丸山 久一（コンクリート）、目黒 公郎（都市防災）、
　　森川 高行（土木計画、交通）

5. 東北地方太平洋沖地震被害調査連絡会の設置

- 1) 日本地震工学会、土木学会、日本建築学会、地盤工学会、日本機械学会の 5 学会で東北地方太平洋沖地震被害調査連絡会（以下、連絡会）を立ち上げる。適宜、構成員の拡充を図る。設立：3月 15 日
 - 日本地震工学会：久保哲夫、東畑郁生、中埜良昭、鴨原毅
 - 土木学会：川島一彦、小長井一男、若松加寿江、古木守靖、片山功三
 - 日本建築学会：林康裕、平石久廣、腰原幹雄、真木康守
 - 地盤工学会：日下部治、安田進、戸塚弘
 - 日本機械学会：藤田聰、高田一、森下正樹、皆川佳祐、古屋治
- 2) 連絡会は事態がもう少し沈静化した段階で開催する。当面はメールで連絡し合う。
- 3) 被害情報を学会間で共有できるように、各学会で HP を立ち上げ、これを相互に引用することにより相互に見られるようとする。海外からのアクセスも可能なように工夫する。
- 4) 学術調査が可能となるのはある程度の時間が経ってから（2週間程度？）と考えられる。
- 5) 連絡会では、学術被害調査のほか、合同報告会、報告書、海外からの調査団への対応等に關して協力しあう。